

第 51 回 強く豊かな日本列島について（広報まつぎき 令和 8 年 3 月号掲載）

1 月の国会会期冒頭の解散により、先月 2 月 8 日に衆議院議員選挙が行われ、自民党が単独で 3 分の 2 となる 316 議席を獲得し、歴史的な大勝を収めました。多くの国民の皆さまが高市早苗総理に日本の未来を託した結果と受け止めています。有権者の発言の中にも、経済格差の是正、分断の解消、多文化共生社会への対応など、期待をする声が多く聞かれました。国の新年度予算も成立する予定ですが、自治体間格差の是正も、強く要望していきたいと存じます。地方なくして日本国の発展はあり得ません。強く豊かな日本は、地方あってのことと識者の多くが発言しています。高市総理は、「挑戦しない国に未来はない」と述べていて、未来が不安定で不確実な社会だからこそ挑戦が大事であると強調されています。このことは、地方の過疎地域にも共通することで、松崎町においても同様です。社会が目まぐるしく変容する中で、いつまでも前例踏襲で変わらない組織や地域は衰退の一步をたどるばかりです。持続可能な地域のために、国民（町民）一人一人が、主体性を持って、まちづくりに関わっていくことが求められています。